

平成28年度滝沢市国民健康保険特別会計決算の概要

(歳入歳出の決算概要)

歳入から歳出を引いた「形式的収支」は、283,099千円の黒字となっており、歳入では基金繰入金と繰越金、歳出では基金積立金を除いた「単年度収支」は、212,990千円の黒字となりました。

この主な要因は、歳出において、1点目は診療報酬・薬価改定による医療費の低下とインフルエンザの影響の減少から、保険給付費のうち、一般被保険者療養給付費が140,476千円、退職被保険者等療養給付費が24,926千円、一般被保険者高額療養費が27,313千円、退職被保険者等高額療養費が6,522千円と不用額がそれぞれ生じたものです。

2点目は社会保険診療報酬支払基金に前々年度に支払った概算払の精算により、後期高齢者支援金が64,000千円、介護納付金が38,000千円とそれぞれ減額調整されたことによるもので、平成28年度の概算費用に減額調整された金額で支出しています。

なお、形式的収支283,099千円のうち、精算による国等への交付金の翌年度返還金は約73,000千円となっており、一般会計繰入金も精算したうえで、残りを財政調整基金へ積み立てる予定としています。

全国的な医療費の動向ですが、国保中央会が公表した速報によると、平成29年2月の市町村国保の医療費は対前年同月比で10.2%減少しています。前年は、高額薬剤の普及やインフルエンザの蔓延で医療費は7.9%増、1人あたりも11.9%増と、今の制度になった平成20年度以降で最大の伸びを記録したものが、平成28年度は診療報酬・薬価改定や高額な薬価の引き下げもあって「平成20年度以降で過去最大の減少率」となっています。

本市におきましても、12月診療分から2月診療分の一般被保険者の医療費は、例年、対前年比で5%～6%の伸びとなっていました。平成28年12月診療分が△2.17%、平成29年1月分が△7.63%、2月診療分が△10.96%の大幅減となっています。

これまで医療費は、被保険者の高齢者割合の増加及び医療技術の高度化など、右肩上がりで増加の一途をたどっていましたが、平成28年度における診療報酬・薬価改定や、高額薬剤の引き下げの影響が今後どのように推移するかを見極める必要があります。また、震災関連の調整交付金が毎年2割ずつ減額され、平成32年度をもって廃止されることになっています。

さらには、平成30年度から国保広域化が始まることから、注意深く国保財政の運営を行っていく必要があります。

(歳入の決算概要)

平成28年度の歳入決算は6,155,125千円で、対前年比では△103,391千円、1.65%の減となっています。減少の主な要因は、前期高齢者医療費を各保険者間で対象者の偏在を是正し財源調整するための前期高齢者交付金が、対前年比で117,728千円の増となり、単年度の収入を86,205千円引き上げたものの、前年度繰越金が△183,503千円となり、対前年比でマイナスとなったものです。

(歳出の決算概要)

平成28年度の歳出決算は5,872,026千円で、対前年比では△241,671千円、3.95%の減となっています。減少の主な要因は、共同事業拠出金と保健事業費が増加したものの、対前年比で保険給付費が△37,739千円、後期高齢者支援金が△40,229千円、介護納付金が△25,868千円がそれぞれ減少したこと等により、単年度の支出は△118,665千円となり、あわせて財政調整基金積立金も△123,006千円少なかったことから、対前年比でマイナスとなったものです。

平成28年度_滝沢市国民健康保険特別会計決算

【歳入】

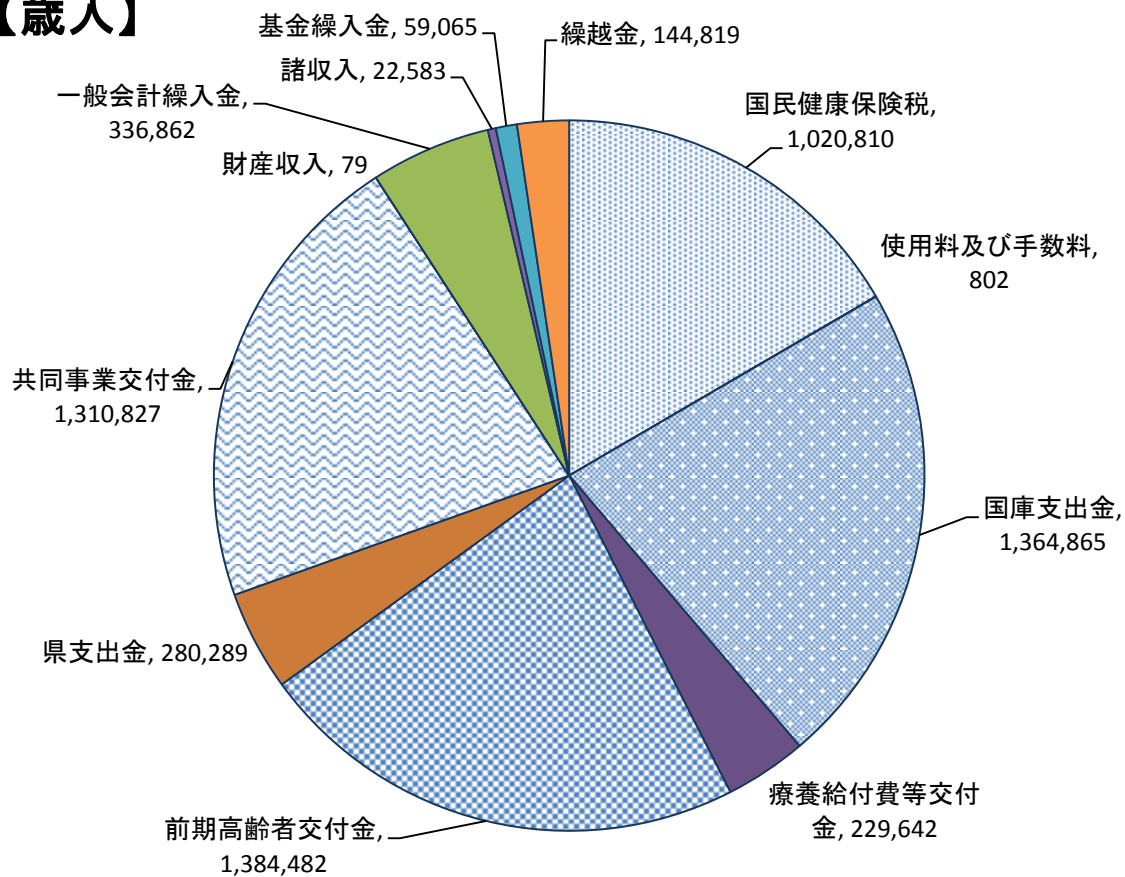
		H28年度				H27決算(Ⅲ) (円)	前年比(Ⅱ-Ⅲ) (円)
		当初予算 (千円)	予算現額(Ⅰ) (千円)	決算(Ⅱ) (円)	予算差(Ⅱ-Ⅰ) (円)		
国民健康保険税		963,956	974,854	1,020,809,607	45,955,607	1,031,153,951	△ 10,344,344
使用料及び手数料		801	701	801,557	100,557	870,100	△ 68,543
国庫支出金		1,212,116	1,327,746	1,364,864,501	37,118,501	1,401,165,882	△ 36,301,381
療養給付費等交付金		253,234	225,168	229,642,315	4,474,315	246,946,000	△ 17,303,685
前期高齢者交付金		1,382,963	1,384,482	1,384,481,522	△ 478	1,266,753,232	117,728,290
県支出金		293,795	299,088	280,289,278	△ 18,798,722	263,995,135	16,294,143
共同事業交付金		1,463,994	1,310,826	1,310,827,468	1,468	1,289,846,955	20,980,513
財産収入		1	57	79,375	22,375	68,514	10,861
一般会計繰入金	保険基盤安定繰入金	251,674	252,950	252,950,808	808	251,673,426	1,277,382
	出産育児一時金繰入金	12,600	11,200	11,200,000	0	11,480,000	△ 280,000
	職員給与費等繰入金	82,563	72,711	72,711,000	0	83,463,200	△ 10,752,200
	その他一般会計繰入金	1	1	0	△ 1,000	0	0
諸収入		5,808	17,696	22,583,260	4,887,260	17,618,919	4,964,341
(A) 小計(単年度収入)		5,923,506	5,877,480	5,951,240,691	73,760,691	5,865,035,314	86,205,377
基金繰入金		59,065	59,065	59,065,000	0	65,159,000	△ 6,094,000
繰越金		2	144,820	144,819,342	△ 658	328,322,298	△ 183,502,956
(B) 収入合計		5,982,573	6,081,365	6,155,125,033	73,760,033	6,258,516,612	△ 103,391,579

【歳出】

		H28年度				H27決算(Ⅲ) (円)	前年比(Ⅱ-Ⅲ) (円)
		当初予算 (千円)	予算現額(Ⅰ) (千円)	決算(Ⅱ) (円)	予算差(Ⅰ-Ⅱ) (円)		
総務費		83,217	74,261	73,152,157	1,108,843	79,240,959	△ 6,088,802
保険給付費		3,647,244	3,709,793	3,502,977,169	206,815,831	3,540,716,575	△ 37,739,406
後期高齢者支援金		609,356	607,568	607,567,301	699	647,796,049	△ 40,228,748
前期高齢者納付金		310	443	441,335	1,665	450,878	△ 9,543
老人保健拠出金		40	16	15,886	114	20,218	△ 4,332
介護納付金		224,601	223,175	223,174,763	237	249,042,780	△ 25,868,017
共同事業拠出金		1,327,280	1,253,187	1,253,185,204	1,796	1,229,907,192	23,278,012
保健事業費		82,662	60,338	60,112,311	225,689	56,906,768	3,205,543
公債費		1	40	21,438	18,562	0	21,438
諸支出金		7,860	18,767	17,602,956	1,164,044	52,833,851	△ 35,230,895
(C) 小計(単年度支出)		5,982,571	5,947,588	5,738,250,520	209,337,480	5,856,915,270	△ 118,664,750
基金等積立金		1	133,776	133,775,322	678	256,782,000	△ 123,006,678
予備費		1	1	0	1,000	0	0
(D) 支出合計		5,982,573	6,081,365	5,872,025,842	209,339,158	6,113,697,270	△ 241,671,428

収支	(A-C) 単年度収支	△ 59,065	△ 70,108	212,990,171		8,120,044	204,870,127
	(B-D) 形式的収支	0	0	283,099,191		144,819,342	138,279,849
国特別調整交付金(東日本大震災分)				113,128,000		141,314,000	△ 28,186,000
東日本大震災分を除いた単年度収支				99,862,171		△ 133,193,956	233,056,127
国庫負担等の精算による翌年度返還金				72,896,888		7,723,040	65,173,848

【歳入】



【歳出】

